授業科目	生涯発達心理学 II (幼児期~老年期)				
担当者	森田喜治・森田婦美子 他				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1年	総単位数	1 単位
导以(件)		開講時期	後期	選択·必修	必修

■ 授業目的・内容

・エリクソンのライフサイクルを中心に生涯発達の課題について講義し、それぞれの時期ごとにみられる子どもの 心理的問題や精神的問題にも目を向けることによって人間の心の発達を概観する。

特に、受講者自身の過去の経験を振り返りつつ、体験的に人間の生涯発達を理解する。(森田善治)

・わが国では、急速な高齢化社会を迎えており、今後高齢者に対する世の中の関心はますます高まっている。 高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を理解した上で、今後ますます増加すると予測される認知症への理解を深め、言語聴覚士として必要なコミュニケーション技術について学びを深める。また、避けて通れない「死」についてタブー視することなく積極的に学ぶことを目的としている。(森田婦美子)

■到達目標

- ・①エリクソンの述べる発達課題について理解する
 - ②各発達課題を経過する際に我々は様々な問題に出会う。それらの問題の形成を知ることで、人が成長することの難しさと、それ故に表現される心の叫びを理解する。
- ③発達課題を通過してきた受講者自身の体験を通して、生涯発達の理解を深める。
- ④言語、聴覚の障がいとされるコミュニケーションのハンディがもあたらす心の叫びを理解する。(森田善治)
- ・①高齢者の発達段階が理解できる。
- ②高齢者の加齢性変化と疾病の成り立ちが理解できる。
- ③認知症の基礎理解とともに、コミュニケーション方法を学ぶことが出来る。
- ④言語聴覚士として「人の死」について考えることができる。(森田婦美子)

■授業計画

- 第1回 精神分析学の観点から母子関係を主体にした発達について(特に関係性に焦点を当てる)(森田善治)
- 第2回 エリクソンの発達課題を中心にして幼児期の発達課題及び心理学的問題(森田善治)
- 第3回 エリクソンの発達課題を中心にして児童期の発達課題及び心理学的問題 (森田善治)
- 第4回 児童期の発達課題及び心理学的問題 (特に虐待と学校における問題) (森田善治)
- 第5回 エリクソンの発達課題を中心にして思春期の発達課題及び心理学的問題(森田善治)
- 第6回 思春期の発達課題及び心理学的問題 (思春期の不安定と精神的問題) (森田善治)
- 第7回 エリクソンの発達課題を中心にして成人期~壮年期の発達課題及び心理学的問題(森田善治)
- 第8回 成人期~壮年期の発達課題及び心理学的問題(家族の関係と壮年期の心理的問題)(森田善治)
- 第9回 老年期の発達課題・加齢性変化と病気の発症(森田婦美子)
- 第10回 老年症候群 (森田婦美子)
- 第11回 認知症の基礎理解 (森田婦美子)
- 第12回 認知症高齢者とのコミュニケーション(森田婦美子)
- 第13回 終末期ケア (森田婦美子)
- 第14回 死への対応1 (講師非公表)
- 第15回 死への対応2 (講師非公表)

■評価方法

レポート100%

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

- ・発達というのは、概念的なものではなく、そこにはそれぞれの受講生が過去に通過してきた哲学がある。 したがって、人に関する、あるいは、発達と心のありように関する様々な書物に触れながら、自分に目 を向けるように心がける。本講義の課題であるレポートはそれぞれの自己に対する振り返りになるため、 その際にどのような気づきを得たかが中心になるため、レポートの中ではその書物を参考にできるよう にしていただきます。(森田善治)
- ・毎回の授業を受講するにあたって、指定された関連動画を視聴、学びをまとめておくこと。(森田婦美子)

■教科書

■参考図書

■留意事項

- ・常日頃から、自身の対人関係、価値観や心に起こる様々な体験をしっかりと心に刻んでおくことで、自 分自身を見直すよい体験になります。それらが、仕事上でも重要な指針を与えてくれるものですので、 自分自身に対する客観的興味を失わないようにしてください。(森田善治)
- ・講義に当たって、積極的に参加するようにしてください、講義中でも質問等がありましたら出していただければ活発なものになると思われます。自ら学ぶように心がけてください。(森田善治)不測の事態(災害等)が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム(Moodle)を通じて周知する。